

2013年度からはじまった当企画。
熱い声援を受け、今回も開催します！

新しい考古学の扉を開く!?

コーディネーター
黒崎直 (当館館長)
&
秋山浩三 (副館長)

若き考古学徒、 論壇デビュー!

3rd チャレンジ

考古学の未来はだれが創るのでしょうか?
それは、考古学者のタマゴである学生と、彼らを育てる大学、そして研究の進展を楽しみに待つアナタです。
今年も弥生博に府内の各大学から俊英が集いました。
新しい考古学の扉を開いていく、彼らの熱を感じてみませんか?

第1回 2016年1月23日 (土)

< 大阪市立大学 / 文学部 4 回生 >

左海 航平「六甲南麓地域から考える弥生時代の社会変動」

< 関西大学大学院 / 文学研究科 博士課程前期課程 2 年次 >

上田 裕人「弥生時代後期の集落形成 - 集落内に所在する竪穴建物を対象に -」

企画展
「海の王都・
原の辻遺跡と
吉岐の至宝」
開催中

第2回 2016年2月27日 (土)

< 近畿大学大学院 / 文芸学研究科 国際文化専攻 修士課程 2 年 >

小林 実加「古代エジプトにおけるアメジストの使用目的に関する考察」

< 関西大学大学院 / 文学研究科 博士課程前期課程 2 年次 >

鮫島 えりな「古代宮都における倉庫の位置 - 前期難波宮を中心に -」

常設展示
期間中

第3回 2016年3月19日 (土)

< 大阪大学大学院 / 文学研究科 博士前期課程 1 年 >

内藤 元太「埴輪製作工人の移動 - 遺跡間で見られる同工の埴輪について -」

< 関西大学大学院 / 文学研究科 博士課程後期課程 2 年次 >

周 吟 「高松塚・キトラ古墳と唐代壁画墓の関係」

ミュージアム
ギャラリー
「創作展
いずみ」
開催中

時 間：13 時～15 時 30 分 (12 時 30 分から受付)
定 員：170 名 (当日先着順)
聴 講 料：無料 (要入館料)
入 館 料：第 1 回 一般 400 円、高大生・65 歳以上 300 円
第 2・3 回 一般 300 円、高大生・65 歳以上 200 円

車弥呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
大阪府和泉市池上町4-8-27 TEL.0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

ACCESS
JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約 600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約 1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR 天王寺駅から和歌山方面行 (阪和線) 快速電車に乗車になり、鳳 (あとり) 駅で普通電車にお乗換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関西・紀州路快速」をご利用になると便利です。
鳳から3駅目が信太山 (しのだて) 駅です。

国道 26 号「池上町」交差点南西角
P 普通車 72 台 (無料)



弥生フェスティバル連続講演会
まっほ どうたく
奇跡の発見! 「松帆銅鐸」
3月23日(水)・24日(木)・29日(火)・30日(水)
乞うご期待!!